

第2回環境モニタリング委員会議事録要旨

【日時】：2025年8月19日（火）13:00～16:35（非公開）

【場所】：石原産業(株)四日市工場総合事務所 AB ホール

【出席者】

出席委員

委員長 大東憲二（大東地盤環境研究所 所長）

委員 片山新太（名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授）

委員以外の出席者

森本工産株式会社（調査会社）

石原産業株式会社（事業者）

【議事】

1. 議題

- 1) 今回の報告概要について
- 2) 全域調査モニタリング結果
- 3) 北西域及び南東域揚水に関する進捗報告
 - ①北西域モニタリング結果
 - ②南東域モニタリング結果
 - ③西側域モニタリング結果
 - ④宙水処理施設の稼働状況
- 4) 北西域ホットスポット（ひ素）対策の進捗報告

2. 議事概要

1) 今回の報告概要について

土壤汚染対策の全体計画と進捗状況について説明した。

地下浸透防止の観点から、裸地舗装を行っている。全体計画の 50%程度実施しており、今後も継続することを報告した。

2) 全域調査モニタリング結果

資料 1 に基づき、2014 年以降 11 年分のモニタリング結果について報告した。

3) 北西域及び南東域揚水に関する進捗報告

①北西域モニタリング結果

資料 2-1 に基づき、北西域のひ素濃度の経時変化を報告した。

②南東域モニタリング結果

資料 2-2 に基づき、南東域の汚染（VOC）状況、揚水量と VOC 濃度の推移について報告した。

ジクロロメタンについては減少しているが、1,2-ジクロロエタンが一部の観測井で上昇傾向となっており、今後調査を行う。

③西側域モニタリング結果

資料 3 に基づき、昨年度に運転開始した揚水井の効果について報告した。

地下水モニタリング結果ではひ素、ふっ素共に敷地境界の観測井の水質は全て排水基準以下であった。

④宙水処理施設の稼働状況

資料 4 に基づき、第 0 帯水層の対策状況について報告した。

ウエルポイントについては揚水の終了を報告し、トレンチについては今後も揚水を継続していくことを報告した。

4) 北西域ホットスポット（ひ素）対策の進捗報告

資料 5 に基づき、“汚染拡散防止壁”によるひ素の拡散防止効果のモニタリング結果を報告した。

拡散防止効果により、ホットスポットからの拡散を抑制することができている。今後もモニタリングを継続し、汚染拡散防止壁の有効性を確認する。この他、VOCs のホットスポットにおいて重金属の吸着に加えバクテリアによる分解を併用した対策工事の検討を行う。

(委員) ホットスポット内部のひ素が吸着され、拡散防止が図られていることを理解できた。

(委員長) 工場の汚染に対する対応は、バリア井戸を中心に必要な対応ができていると思っている。今後もより良い浄化ができるように、環境モニタリング委員会で議論していきたいので引き続きよろしくお願いします。

以上、環境モニタリング委員会の審議はすべて終了した。